

# 貸借対照表

2023年3月31日現在

阪神ケーブルエンジニアリング㈱

科 目	金 額	科 目	金 額
〔資産の部〕	円	〔負債の部〕	円
流動資産	2,856,019,757	流動負債	1,037,878,081
現金預金	411,717	工事未払金	763,145,366
完成工事未収入金	978,524,000	未払金	151,982,368
未成工事支出金	153,261,725	未払費用	5,736,727
貯蔵品	538,282,575	未払法人税等	36,141,300
前払費用	29,781,476	未成工事受入金	39,689,253
預け金	1,099,027,044	預り金	2,440,419
未収入金	717,267	賞与引当金	38,694,468
その他の流動資産	61,820,120	その他の流動負債	48,180
貸倒引当金	△5,806,167		
固定資産	819,159,931	固定負債	198,690,109
有形固定資産	468,456,932	退職給付引当金	191,190,403
建物	11,742,975	預り敷金	7,499,706
建物附属設備	9,867,039		
構築物	181,384,849	負債合計	1,236,568,190
機械及び装置	160,300,478	〔純資産の部〕	
車両運搬具	3,779,181	株主資本	2,438,611,498
工具器具備品	42,969,741	資本金	50,000,000
建設仮勘定	58,412,669	利益剰余金	2,388,611,498
無形固定資産	180,394,674	利益準備金	12,500,000
ソフトウェア	176,511,071	その他利益剰余金	2,376,111,498
その他の無形固定資産	3,883,603	繰越利益剰余金	2,376,111,498
投資その他の資産	170,308,325		
投資有価証券	14,338,400	純資産合計	2,438,611,498
長期前払費用	13,478,809		
差入保証金	360,000	負債・純資産合計	3,675,179,688
差入敷金	25,462,000		
繰延税金資産	106,779,846		
その他の投資	26,315,939		
貸倒引当金	△16,426,669		
資産合計	3,675,179,688		

## 個別注記表

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

- (1) その他の有価証券  
時価のないもの 移動平均法による原価法

#### 2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- (1) 未成工事支出金 個別法に基づく原価法  
(2) 貯蔵品 先入先出法に基づく原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

#### 3. 固定資産の減価償却方法

- (1) 有形固定資産 定額法  
(2) 無形固定資産 定額法

なお、自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

#### 4. 引当金の計上方法

- (1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。  
(2) 賞与引当金 従業員の賞与支給に充てるため、翌期の支給見込額のうち当期に負担すべき金額を計上しております。  
(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、期末日における退職給付債務の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。

#### 5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- (1) 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。  
(2) グループ通算制度の適用  
阪急阪神ホールディングス株式会社を通算親法人とするグループ通算制度の適用を受けております。  
(3) 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理  
当社は、当事業年度から、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

当期純利益

311,483,351円